

対面／オンライン研修

文部科学省後援

2025年度ELEC春期英語教育研修会

2026年3月25日(水)－3月31日(火) 各コース1日制

ELEC

「より生徒のためになる授業を」「授業に活かせるアイデアを」
「他の先生方の実際の授業を見てみたい」

1957年より67年間、全国の中学高校の先生方、教員志望の学生の皆様、また英語教育に関心がある方々など、延べ26,000人のご参加をいただいております。毎回、英語教育に情熱を注ぐ先生方が集い、共に成長し、刺激を受ける場となっています。ご参加いただくことで、英語教育に今まさに必要なことを追求し、明日の授業改善を目指す一助となるでしょう。「生徒たちの未来を豊かにする素晴らしい教育を築いていきたい！」そんな先生方のご参加をお待ちしています。校種・職種を問わず、英語教育に興味ある方であればどの講座でも受講できます。

《コース日程は裏面をご覧ください》 *申込み開始は2月上旬を予定しています。

お申込み方法: ELECウェブサイトよりご確認ください https://www.elec.or.jp/teacher_training/training_session
会場・内容の都合上、定員に達した場合はお申込みを締切らせて頂きます。また講師・内容は都合により変更となる場合がございます。予めご了承下さい。



ELEC
一般財団法人英語教育協議会

＜春期英語教育研修会＞
ご案内

お問合せ

TEL: 03-5259-7889

E-mail: kenshu@elec.or.jp

- | | |
|--------|---|
| 開催期間 | ● 3月25日(水)－3月31日(火) 7日間開催 |
| 時 間 | ● <対面> 9:30－12:20 / 13:30－16:20
● <オンライン> 9:30－12:00 / 13:00－15:30 |
| 定 員 | ● <対面> 各コース60名 <オンライン> 各コース40名 |
| 受 講 料 | ● <対面> 1日制 11,000円(資料代・税込)
● <オンライン> 1日制 8,800円(資料代・税込) |
| 会場(対面) | ● コンフォール安田ビル 地下1階(東京都千代田区神田錦町2-9) |

お申込みについて: 研修一覧よりご希望のコースをお選びください。

- * お申込みは【ELEC研修申込サイトmanaable(マナブル)】よりお願いいたします。
最初に新規登録していただきますと、ELEC研修のお申込み・管理がご利用いただけます。
- * 学校様・教育委員会様のお支払い(お振込み)によるお申し込みも受け付けております。
詳しくはELECウェブサイトをご覧ください。

対面研修	CT1 3/25 (水)	1日	クリエイティブクラスが育む探究型英語教育 — 生徒による実演と実践報告	探究型学習と『主体的な学びの可視化』を軸に、高校『クリエイティブクラス』の授業設計・指導・評価を紹介。実際に皆さんの前で現役生徒数名が英語プレゼンを実演し、探究成果の伝え方、フィードバックと成長の見取りを参加者と共有します。後半はパネルで動機づけ等の変化を検討し、質疑も行います。	土屋進一 西武文理大学・ 西武文理学園高等学校
	CT2 3/27 (金)	1日	どんな生徒も伸ばす「授業の4階層」を意識した中学英語の授業デザイン	①正しい授業(大前提の土台作り)②楽しい授業(生徒が夢中になるタスクベースの言語活動)③英語力がつく授業(経験に基づく確かな理論、効果を最大化する指導形態・方法・教材の工夫)④社会と繋がる授業(教室を飛び出したタスクベースの探究実践)／ICT活用の工夫(個別最適・協働学習、教師の負担軽減)／All Englishで授業を進める工夫 ※主担当学年の使用教科書をご持参下さい。	橋本晋作 渋谷区立松濤中学校
	CT3 3/28 (土)	午前	生徒の発話を引き出しながら内容理解を深める授業デザイン	生徒の発話をもとに、教師とのやり取りを通して内容理解を深めていく授業の流れを体得します。笹生先生の実践を手がかりに、発話を引き出す発問例と応答の型をモデル分析。さらに、参加者自身の授業案を素材に、「発話を引き出す発問と応答」を具体的に設計し、相互フィードバックを通して磨き上げます。	笹生綾子 東京都立国際高等学校
		午後	英語を「使う」授業デザイン：中高の実践モデルとISLA研究	解説ばかりの授業では、英語は使えるようになりません。練習と言語活動を充実させて成果を挙げている中学校(5ラウンドシステム)と高校(田名部モデル)の実践例を紹介し、ISLA(第二言語習得研究)研究がどう授業計画を支える軸になるか提案した上で、参加者の皆さんと議論します。	鈴木祐一 早稲田大学
	CT4 3/29 (日)	1日	「生成AI活用術研究所」実践セミナー 生成AIを活用した(英語)教師のための新年度準備講座 ～新年度がちょっと楽しみになる生成AI活用術～	生成AIの最新情報を踏まえ、新年度に向けて校務や授業にすぐ活用できる生成AIの使い方(プロンプト作成を含む)を、実際の操作を通して学びます。教材研究・教材作成・テスト問題作成・評価やフィードバック作成などの実践例を紹介し、授業の質を高めながら教員の負担を軽減する工夫を扱います。また、4技能5領域への応用や、倫理・個人情報・プライバシーへの配慮など、学校現場で安心して活用するためのポイントも整理します。新学期を迎えるのが「ちょっとだけ楽しみ」になることを目的に研修を進めます！	豊嶋正貴 國學院大學 ほか
	CT5 3/30 (月)	午前	デジタルツールで学びが動く英語授業：自発的学習を育てる授業と教材活用	授業内外でのデジタルツール・教材の使い方を整理し、授業と家庭学習を一体化。生徒が「自然と学んでいる」状況を目指して、インプットからアウトプットまで自走できる授業・課題設計、習熟度差に対応した目標設定や協働学習など、生徒の自発性を引き出すしかけと運用を、具体的に共有・議論します。	卯城大 昭和女子大学附属 昭和中学校・高等学校
		午後	発信力の育成に向けた逆算的な指導・評価計画と音声指導	新年度の教科書を使って、学期末のスピーキング・ライティング活動と評価方法を考えます。ゴール達成に向けて、既習の文法・語彙を定着させるために「構造・意味と音調」を意識した口頭練習・音読指導の質を高める工夫を、豊富な具体例を通して体験します。	久保野雅史 神奈川大学
オンライン研修	CO1 3/26 (木)	午前	どの生徒も達成感を得る英語授業作り：ラウンドシステムと条件設定	ラウンドシステムを基本に、対話活動→中間評価→相互評価→パフォーマンステスト(Story-Retelling Test)までの流れを整理。Rubric作成・評価のすり合わせとPDCAで授業改善を繰り返す工夫。多様な生徒が達成感を得る条件設定、研究授業・教科会の回し方まで明日から使える形を提案します。	土屋雅徳 川崎市立有馬中学校
		午後	中学の授業・評価の悩みの解決に向けて	テスト改善／授業改善を「追加」ではなく引き算(やめる・残す・最小限足す)で整理し、負担を減少させながら前に進む道筋を提案します。事前アンケートで集めた困りごと(評価・定期テスト等)を基に、講義＋ケース検討＋相談から具体策を皆さんで考えます。大規模校でも回る絞り方・テンプレ化にも触れます。	小岩井高德 松本市山形村朝日村 中学校組合立鉢盛中学校
	CO2 3/31 (火)	1日	ICTを活用するためのマインドセットで授業を動かす	ICT活用の基礎・基本から応用まで/AI活用の基礎/ICT or 紙、どっち？/4技能統合型の指導方法/進学校から中堅校等での指導方法の違い/同僚問題の対処法/便利で効果が高いICTツール/発問を中心に据えた授業づくり/明日から始まる新年度がワクワクするための秘訣	岩瀬俊介 福島県立あさか開成高等学校